

チームNITEの詳細はこちら



国際評価技術本部

大型蓄電池システムなど、戦略的技術分野における、先進的な技術・知見等を活用した評価技術の開発、国際標準の提案、認証基盤の整備等を行います。

バイオテクノロジーセンター

生物遺伝資源の提供、遺伝子組換え技術の産業利用における安全確保、生物遺伝資源利用のための国際的ネットワーク構築などバイオ産業の発展を支援しています。

化学物質管理センター

安全の確保と経済の発展の両立に向け、化学物質の人の健康や環境に影響するリスクの低減に貢献するとともに、国際社会の変化に柔軟に対応した化学物質管理制度の構築に向けた支援を行います。

認定センター

認定センター (IAJapan) は、公的認定機関として、試験所・校正機関・製品認証機関・標準物質生産者を国際規格に基づいて認定し、試験・校正データの信頼性や製品の品質を支えています。

製品安全センター

製品事故に関する情報を調査、分析し、再発防止やリスクの低い製品開発に向けて必要な情報を発信します。

お問い合わせ先

- 北海道地域
〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2-1-1 札幌第一合同庁舎
e-mail team-HOKKAIDO@nite.go.jp
- 東北地域
〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台4-5-18
e-mail team-TOHOKU@nite.go.jp
- 関東甲信越地域
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10
e-mail team-KANTOKOSHINETSU@nite.go.jp
- 北陸地域
〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1 金沢西合同庁舎
e-mail team-HOKURIKU@nite.go.jp
- 中部地域
〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
e-mail team-CHUBU@nite.go.jp
- 関西地域
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16
e-mail team-KANSAI@nite.go.jp
- 中国地域
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第3号館
e-mail team-CHUGOKU@nite.go.jp
- 四国地域
〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル5F
e-mail team-SHIKOKU@nite.go.jp
- 九州地域
〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原2-1-28
e-mail team-KYUSHU@nite.go.jp

チームNITEの活動案内



NITEがもたらす評価によって 製品・技術に確かな価値を

評価シナリオづくり、人材育成、制度体制・環境づくりを通じ
豊かな社会やくらしの実現、企業のイノベーションの実現を目指した
NITEとの共創による新たな取り組み、それがチームNITEです。

NITEホームページ
<https://www.nite.go.jp>



製品・技術の価値創造で 新たな市場をつくる

製品や技術、サービスを世の中に浸透させるためには、いくつかの方法があります。そのうちの一つに、アピールしたい特色について信頼性の向上によりその価値をさらに高めることができる、「評価制度の活用」があります。

評価制度は、事業者の規模や地域、これまでの実績にかかわらず、製品や技術、サービスの認知度を上げる手段として活用できます。また、地域発の技術の実用化や製品の市場拡大について、各地域における産業の特性を活かした形での実現可能性を有しています。

チームNITEでは、「課題の調査・特定」「評価シナリオづくり」「人材の育成」「制度体制・環境づくり」といった支援を、評価制度の効果的な利用のために用意しました。中小・ベンチャー企業などの製品や技術、サービスを市場において早く広めていくためのお手伝いをいたします。

支援1

課題の調査・特定

- 特色をどう引き立たせるかのポイントの選択と引き立たせるための評価や手法の調査、提案

支援2

評価シナリオづくり

- 評価制度を立ち上げ、運用するまでの全体像の作成
- 特色を引き立たせるための適切な方法の選択

チームNITE 4つの支援

支援3

人材の育成

- 評価制度づくりや制度運営を担う・支援する人材の育成

支援4

制度体制・環境づくり

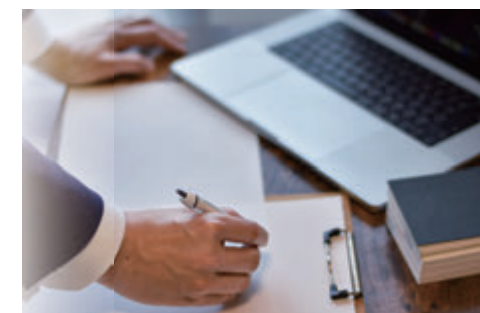
- 評価制度の持続的な運用
- 評価制度の活用・普及

支援1 課題の調査・特定

製品や技術、サービスについて、その価値をどのように言語化・具体化して社会や市場での差別化をすることができるか、多方面からの検討を支援します。

【検討項目の例】

- どこに焦点を当て特色を引き立たせるか
- 評価制度をどのように活用するか
- 評価制度の活用によって期待される効果



支援2 評価シナリオづくり



特色を引き立たせるためのポイントに対して、市場からの信頼を得られる『評価シナリオ』を作成します。検討に必要な項目の洗い出しから世の中で流通するまでの時間軸の中で、どういった評価の方法を選択すべきかを支援します。

【シナリオ作成時の検討項目例】

- 評価に利用するツールの選択
(認証制度・自己適合宣言、評価方法(試験、検査、監査)、証明方法)
- 評価基準の活用、現状の評価基準の見直し
- マーク※等表示制度の参照 ※例：エコマーク、抗菌SIAAマークなど

支援3 人材の育成

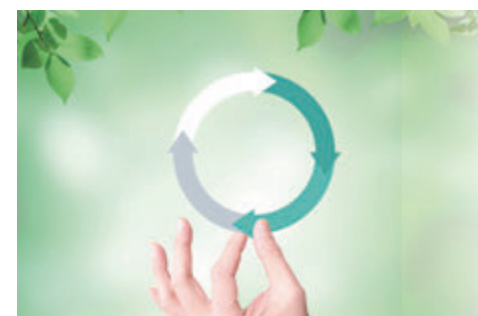
NITEが運営する人材育成プログラム——有望技術等の社会実装、市場拡大支援を担う人材を育成——を提供します。評価制度の構築や運用について適切な支援ができる人材を社会全体で増やします。

【プログラムの目的】

- 評価制度に関する豊富な知見を身につける
- 持続的に実現可能な評価制度を構築、運用する



支援4 制度体制・環境づくり



NITEが持つ幅広いネットワークを活用し、評価制度を持続的に運用していくための体制づくりや評価制度が社会や市場でより活用される環境づくりを支援します。また、公的機関などによる委託費、補助金等に関する情報などを紹介します。

【支援の例】

- NITEの専門部門による知見の提供(NICEプログラム)
- 制度運営において必要な機関などの紹介
- 評価制度を運用する際のコストの分析

イノベーション協創プログラム「NICE (NITE Innovative Collaboration Expert)」

(製品・サービス創出時における技術的な課題に対し、共同事業の実施や試験設備の提供などにより、課題解決を目指す仕組み)もご活用ください。

